

令和6年7月24日

関係団体 御中

岩手労働局労働基準部健康安全課

「中高年齢の女性を中心に」版 転倒防止リーフレットについて

平素より労働安全衛生行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、

転倒災害防止の取組みについては、事業者向けリーフレット、労働者向けリーフレット等をご活用いただいているところです。

近年、高齢者の就業率の増加に伴って、骨折のリスクが高い中高年齢の女性を中心に転倒による骨折等の労働災害が増加している状況を踏まえ、別添のとおり中高年齢の女性を使用する事業者向けのリーフレットを作成しましたので、転倒災害防止の取組みにご活用ください。

なお、当局ホームページ健康安全課担当ページに同リーフレットを掲載しておりますので申し添えます。

健康安全課担当ページ

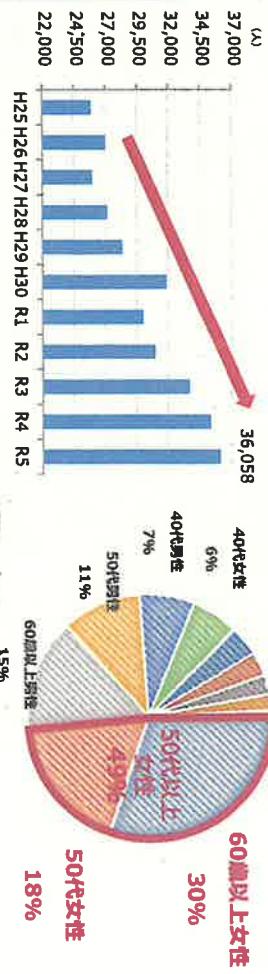
https://jsite.mhlw.go.jp/iwate-roudoukyoku/roudoukyoku/gyoumu_naiyou/kijunbu/eisei.html#stop-ten10



労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を 防止しましよう

⚠ 職場で転倒して骨折（転倒災害）

性別・年齢別内訳（令和5年）



- 「つまずき」等による転倒災害の原因と対策
- (なし)
何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
 - 作業場・通路に放置された物につまずいて転倒(バックヤード等も含めた整理、整頓(物を置く場所の指定)の徹底)
 - 通路等の凹凸につまずいて転倒
 - 敷地内(特に従業員用道路)の凹凸、陥没穴等(ごくわずかなものでも危険)を確認し、解消
 - 作業場や通路以外の障害物(車止め等)につまずいて転倒
 - 適切な通路の設定
 - 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
 - 作業場や通路の設施、什器、家具に足を引っかけて転倒
 - 設備、什器等の角の「見える化」
 - 作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒
 - ※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い、転倒原因となるよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる



転倒災害による平均休業日数(令和5年)

48.5日

※労働者死因統計報告による休業見込日数

よくある転倒の原因と対策

「滑り」による転倒災害の原因と対策

- 凍結した通路等で滑つて転倒
・従業員用道路の除雪・融雪、凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する(★)
- 作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑つて転倒
・水、洗剤、油等がこぼれることのない状態を確認してからの開放の徹底)
- ウェットエリア(食品加工場等)で滑つて転倒
・滑りにくい履き物の使用(労働安全衛生規則第558条)
・防滑床材・防滑グレーティング等の導入、摩耗している場合は再施工(★)
・隙接エリアまで滑れないよう処理
- 雨で濡れた通路等で滑つて転倒
・雨天時に滑りやすい場所を確認し、防滑処置等の対策を行う
- (★)については、高年齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます

中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます

転倒リスク・骨折リスク

- 加齢とともにすべての方が、転びやすくなります
·いますぐ「転びの予防体力チェック」
- ✓ 「毎日かんたん！ロコモ予防」(出典：健康寿命をのぞむ SMART LIFE PROJECT)
- ✓ 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します
·対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう
·骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」(出典：健康寿命をのぞむ SMART LIFE PROJECT)

